

# 京友禅原画 世界へ発信

京都市と天津市の会社が、明治初期から昭和初期にかけて描かれた京友禅の原画約1万点をデジタルアーカイブ化した。京都画壇で活躍した神坂雪佳(1866〜1942年)や上村松園(1875〜1949年)が若き日に手掛けたデザインもあるという。16日から画像の配信サービスを始め、京都の財産を後世に伝えようとにも世界に発信する。

## 京と大津のネット会社

原画は、友禅図案コたのは、インターネットテストの入選作品トサービス「アロンジ」で、染色関係の団体が「エ」(京都市中京区)集まる京染会館を管理とソフトウェア開発運営する財団法人京染「キシステム」(大津市)会(中京区)が保管し、「和」の空間に合うていた。花鳥模様や有、ディスプレイのデザイン模様、四季を色鮮や、素材として商業的にかな顔料を使って描い、活用するため、写真・イラストの画像データ

デジタル化を手掛け 販売の「アマナイメージ

## 京都画壇 雪佳や松園デザインも

「ジズ」(東京都)と提携。アマナイメージズが運営する画像検索・販売サイトで原画の画像を1点約3万円から販売することにした。

初回配信では原画の画像約千点を公開する。以降、毎月約千点ずつ配信画像を増やし、京染会の所蔵品以外にも京友禅の伝統工芸士田畑喜八さんが所蔵の作品もデジタル化して公開していく予定という。

企業案内や商品パッケージ、カレンダー、年賀状などへの利用を想定し、初年は3千万円の売り上げを目指す。アロンジエの市田美加社長は「古いものを古いままで終わらせるのではなく、文化遺産が次の世代に活用される第一歩にしたい」と話している。

アマナイメージズのサイトは [amanaanimages.com/](http://amanaanaimages.com/) (大西保彦)



デジタル化された京友禅の原画。画像配信サービスで京都の伝統産業を広く発信する

